

令和3年度 香川短期大学

一般選抜前期

21世紀型指定校選抜Ⅲ後期（特待生入試）

『国語総合』問題用紙

令和3年2月1日

注 意

1. 試験監督の指示があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題は から まで、12 ページあります。
3. 答えはすべて解答用紙に書きなさい。
4. 解答用紙、問題用紙ともに受験番号を記入しなさい。

次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

(三井秀樹『メディアと芸術』による)

*1 鹿鳴館Ⅱ明治十六年に建設された西洋館。国賓や外国の外交官を接待するための社交場として使用された。

*2 インタラクティブⅡ相互に作用するさま。

*3 生活や経済活動などをするのに不可欠な社会基盤。

問一 二重傍線部 (a)・(b)・(e) のカタカナにあたる漢字が含まれる語句を各群の選択肢から一つずつ選び、記号で答えなさい。
また、(c)・(d)・(f) の語句の意味を各群の選択肢から一つずつ選び、記号で答えなさい。

(a) バイカイ ア 会合 イ 解読 ウ 改良 エ 回帰 オ 介助

(b) シコウ ア 行為 イ 好意 ウ 口語 エ 志向 オ 考察

(c) 敬虔 ア 謹んで仕えるさま イ 教えが厳しいさま ウ 価値が高いさま
エ 一時的に敬うさま オ 畏れおののくさま

(d) 蔓延 ア 次から次へと伝わること イ 期限が延びて遅れること ウ はびこって広がること
エ いつまでも終わらないこと オ いっぱいになってあふれ出ること

(e) ジョウセイ ア 豊穰 イ 状態 ウ 感情 エ 醸造 オ 常套

(f) 闊歩 ア 堂々と歩くこと イ 気ままに歩くこと ウ だらしなく歩くこと
エ 急いで歩くこと オ のんびりと歩くこと

問二 文中の空欄 A) E に入る語句としてもっとも適切なものを、各群の選択肢から選び、記号で答えなさい。

A	B	C	D	E
1 タブー	1 結婚	1 背反	1 洋風	1 LAN
2 ルール	2 儀式	2 折半	2 洋才	2 テクノロジー
3 マナー	3 範婚	3 包摂	3 様式	3 コンピュータ
4 娯楽	4 晩婚	4 折衷	4 洋体	4 インターネット
5 コモンセンス	5 冠婚	5 混同	5 洋財	5 回線

問三 傍線部①のように筆者が言う理由は何か、文中の語句を用いて四十五字以内で答えなさい。ただし、句読点も字数に含む。

問四 筆者はメディアが発展する過程を順序立てて四段階に分けているが、それを示すものとしてもっとも適当なものを、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

ア	活字	手書き	放送	IT
イ	手書き	活字	ラジオ	テレビ
ウ	活字	ラジオ	テレビ	コンピュータ
エ	手書き	活字	電気	コンピュータ
オ	活字	放送	電気	IT

問五 本文の主張として正しくないものを、次の選択肢から過不足なく選び、記号で答えなさい。

ア 文化はその国の人々に共有され、伝承されている有形無形の民族的財産である。

イ 外的環境によって自国の文化が変容していく上で大きな影響を及ぼしたものは活字という知力であった。

ウ 文化の受容や変容は知識ベースに限って見られる特徴である。

エ 文明開化の明治期における服飾の変化は、欧米化を急ぐ政府主導による直輸入型の文化の受容であった。

オ 文化の受容において唯一変容が見られないのは宗教観がもたらす戒律や生活習慣である。

カ デジタルメディアの発達により、個人の誰もが国家のような組織とも対等に情報交換することが可能になった。

キ IT化時代はほぼ完璧に文化の受容と変容に関する条件が整ってきたが、それは全く歓迎できる事態ではない。

二

次の文章は、闘病生活の末に苦しみながら亡くなった兄の死を契機に、「私」が四国霊場をめぐる旅をしながら人の死について思索する姿を描いたものである。これを読んで、あとの設問に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

(藤原新也『なにも願わない手を合わせる』による)

*1 遍路Ⅱ四国にある弘法大師ゆかりの霊場八十八か所の寺を巡ること。また、その人。

*2 御大師さんⅡ弘法大師・空海のこと。

*3 弁証法Ⅱ対立・矛盾するものをより高次なものに発展統合させる考え方。

問一 二重傍線部(a)く(e)の読み方をひらがなで答えなさい。

a 四方山 b 精進 c 蘇った d 慈しみ e 所以

問二 傍線部①の説明として、もっとも適当なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 罪をつぐなうための旅をしていると答えた私の言葉に、男は自分と似た事情を察して同情している。

イ 男は私の答えを全く聞かずに、自らが背負った罪の重さにやりきれない後悔を感じている。

ウ 男は私の言葉を取り違えて、自分と同じように罪滅ぼしのために遍路に來ていると思い込んで共感している。

エ 巡礼の多くが贖罪のためであることを知っている男は、私が真実を隠していると思い、人の罪の重さを嘆いている。

問三 傍線部②の意味として、もっとも適当なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 後悔に沈んだ心が軽くなった。

イ 疑問を解く手がかりを得た。

ウ 自分の進むべき方向がはっきりとわかった。

エ 自分の気持ちを別の方向から見直すきっかけができた。

問四 傍線部③とあるが、「私」は赤子との出会いをきっかけにして、どのようなことに思い至ったのか。それを述べた箇所を文中から十五字以内で抜き出さない。ただし、句読点も字数を含む。

問五 傍線部④「漠然とした抽象的なもの」とほぼ同じ内容を表した語句を文中から十字以内で抜き出さない。ただし、句読点も字数を含む。

問六 傍線部⑤について、その意味するところを文中の語句を用いて四十五字以内で説明しなさい。ただし、句読点も字数を含む。

次の各傍線部の慣用表現について、その意味としてもっとも適当なものを各群の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

① 「情けは人のためならず」と諭され、私は最前から口に出そうとしていた言葉を言い出せずに終わった。

ア 人に情けをかけないことは、実はその人を思うからである。

イ 人に愛情を持つことは、かえって自らを愛することになる。

ウ 人に人情をかけることは、結果的にその人のためにならない。

エ 人に温情を与えることは、結局は自らの利益となって返ってくる。

オ 人になんらかの感情をもつことは、必ずその人の身の破滅につながる。

② 久しぶりの映画制作に撮影所が沸き立つ中、所員や俳優の中には役不足を嘆く者もいた。

ア 実力に比べ、与えられた役割が軽すぎることに。

イ 人が多すぎて、役柄が足りないこと。

ウ 役者の数が不足していて、撮影に支障が出ていること。

エ 思いがけない資金が手に入り、どのように使うべきか迷うこと。

オ 与えられた責務を完遂するには、人材が不足していること。

③ 彼女の思い出話を聞いて、やっと合点がいった。

ア 慙愧ざんきに耐えない。

イ 憂愁に沈んだ。

ウ 目から鱗うろこが落ちる。

エ 筆舌に尽くしがたい。
オ 満足を覚えた。

④ 今までの半生を振り返ると気の置けない人間も少なからずいた。
ア 気分を害さず対応できる。
イ 遠慮しないで気楽につき合える。
ウ 落ち着いた気持ちで親しめる。
エ 気を遣ってくつろぐことができない。
オ 注意をめぐらし気配りができる。

⑤ 彼女は所在ないままに、表通りに面した店々のウインドウに自分の姿を映しながら歩き続けた。
ア 自分の居場所が見つからない。
イ 帰る場所がなく困惑している。
ウ どこに行けばいいのかわからない。
エ 居心地がよくない。
オ することがなく退屈だ。

四

次の各文の傍線部について、その意味としてもっとも適当なものを各群の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

① 世界史全体をある一元的なテーゼで論じることはいできない。

ア 命題 イ 提案 ウ 公理 エ 図式 オ 仮説

② 彼が監督した映画はアメリカの人種やアイデンティティに主題を求めたものだった。

ア 自己満足性 イ 自己責任性 ウ 自己存在的 エ 自己暗示的 オ 自己同一性

③ 芥川龍之介の『侏儒の言葉』で語られているものは、人生に対するシニカルな視線である。

ア 虚無的な イ 超現実的な ウ 皮肉な エ 大げさな オ 叙情的な

④ 彼のロジックを支えているのは現代社会の客観的な分析である。

ア 倫理 イ 背理 ウ 真理 エ 推理 オ 論理

⑤ 生食一辺倒だったトマト市場に、煮たり焼いたりする「調理トマト」という新しいカテゴリーを開拓した。

ア 構造 イ 範疇^{ちゆう} ウ 形態 エ 意味 オ 型式